

ほけんだんまつり 2月

浦安市立入船小学校

令和8年2月号

また注意! 冬の感染症



今年度は、早めにインフルエンザの流行があり、1月初めに感染者が少なかったため、このまま冬の流行は早く終わってくれたらとおもっていたところでした。しかし2月に入り、インフルエンザのB型にかかると増えてきました。

感染症対策を心がけて行きましょう。

1時間に1回は窓を開けてウイルスを部屋の外に追い出そう



- 授業中も、窓側とろうか側の窓を少しずつ開けよう。対角線に窓が開くと、空気が入れ替わります。
- 換気扇もついているか確認してね!



寒くても、石けんでしっかりと手洗い。

なぜカゼはひくのなの?

病気になることを「病気にかかる」といいますが、カゼの時だけ「ひく」と言うのはなぜでしょう？

大昔の中国ではカゼをひいたとき、「悪い空気（風）が体に入った状態」だと考えられていたそうです。この悪い空気のことを「邪気」と言い、体の中に邪気を引き込む、という表現か



ら、他の病気のように「かかる」ではなく「引く（ひく）」といわれるようになったとか。ちなみにカゼのことを漢字で「風邪」と書くのは、この話のもとになっているのだそうです。

まだまだ寒い冬。悪いものを引き込まないよう、うがい・手洗いでブロックを!



そろそろ花粉症の季節です



この症状はカゼ? それとも花粉症?



	カゼ	花粉症
鼻水	粘りがあって黄色っぽい	透明でサラッとしている
くしゃみ	1回~数回くらい	連続で何度も出る
熱	微熱 (38℃くらいまで)	ほとんど出ない
症状が強くなる時間帯	1日中だいたい同じ	起きてすぐ、昼間、日が暮れるころ



気になる症状がある人は相談してくださいね

〈保護者の方へ〉市川保健所管内で、麻しん（はしか）の罹患に関する発表がでています。
こういった疾患か、参考にしてください。

症状

感染すると約10日～12日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1000人に1人の割合で脳炎が発症するとされています。



感染経路

麻しんは麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。空気感染、飛まつ感染、接触感染で感染し、その感染力は非常に強いです。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症するとされています。発症した人から周囲に感染する期間(感染可能期間)は、症状が出現する1日前から解熱後3日間まで(全経過を通じて発熱がみられなかった場合は、発疹出現後5日間まで)とされています。

治療

特異的な根治療法はなく、対象療法を行います。

出席停止期間

麻しんは、学校感染症第2種に分類され、麻しんにかかった場合は出席停止となります。出席停止期間は、「解熱した後3日を経過するまで」と定められています。登校には医療機関発行の「治癒証明書」(文書料が必要な場合あり)が必要となります。受診の際に発行してもらってください。

予防接種

麻しんは予防接種が有効です。定期予防接種は確実に受けましょう。定期接種を受けそびれてしまっていたら、早めに医療機関で接種することをお勧めします。

麻しんの既往歴や予防接種歴が不明な場合は、抗体検査を受けることをお勧めします。

〈定期接種対象者〉

第1期	1歳以上2歳未満
第2期	5歳以上7歳未満の者であって、小学校就学前の1年間

気をつけること

- 石けんでのていねいな手洗い、咳エチケットを心がけましょう。
- 規則正しい生活をし、十分な栄養と睡眠をとるようにしましょう。
- カゼと思って油断せず、ひどくなる前に医師の診察を受けましょう。
- 高熱が続くと脱水症状を起こす場合があります。水分はこまめにとりましょう。

【参考】麻しん（はしか）とは（千葉県健康福祉部疾病対策課より）